

キャピタル A ブルハド(CAPI)

航空事業を統合する再編計画の終了は 7 月末の見通し。取引所による「PN17」指定の解除へ視界良好
マレーシア | 旅客航空 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG CAPITALA | REUTERS CAPI.KL

- 2025/12 期 1Q (1-3 月) は、総売上高が前年同期比 0.5%増、EBITDA が同 7.1%増。航空事業は燃料費減少による損益の改善が進んだ。
- 売上比率約 93%を占める航空事業が減収だったものの、物流部門、デジタル・エンジニアリング部門の伸びが補った。
- 航空事業を「エアアジア・グループ」へ統合する再編計画の終了は 7 月末の見通し。取引所による「PN17」銘柄指定の解除へ視界は良好。

What is the news?

5/30 発表の 2025/12 期 1Q (1-3 月) は、総売上高が前年同期比 0.5%増の 52.65 億 MYR、EBITDA が同 7.1%増の 11.06 億 MYR、純利益が同 54.0%増の 1.94 億 MYR。EBITDA マージンは 1.3 ポイント改善して 21.0%となった。主力の航空事業が減収だったものの、物流をはじめその他の事業の伸びが補い全体で増収を確保した。燃料費の減少により航空事業の損益が改善したことに加え、為替差益も最終増益に寄与した。

1Q の事業セグメント別の業績は以下の通り。①航空事業グループは、売上高が前年同期比 0.7%減の 49.14 億 MYR、EBITDA が同 2.3%増の 9.80 億 MYR。収容能力が 11%増加したほか、旅客 1 人当たり付随収益が同 5%増加したものの、ロードファクター（有償座席利用率）が 4 ポイント低下の 86%、1 乗客当たり平均料金が同 9%減だった。②傘下のテレポートが担うロジスティクス（物流）部門は、売上高が同 15%増の 2.58 億 MYR、EBITDA が同 10%増の 0.23 億 MYR。③消費者向けアプリの「Airasia.com」プラットフォームの Airasia Move 部門は、売上高が同 2%減の 10.0%減の 1.27 億 MYR、EBITDA が 60%増の 0.16 億 MYR。④デジタル・エンジニアリング部門は、売上高が同 23%増の 2.07 億 MYR、EBITDA が同横ばいの 0.40 億 MYR だった。

How do we view this?

同社は新型コロナ下で大幅赤字が長期間続いたことで財務悪化・債務超過に陥り、上場するマレーシア証券取引所から、経営難企業に再建を促す「PN17」に指定されていた。同社は、傘下の長距離 LCC であるエアアジア X の持ち株会社「エアアジア・グループ」を新設し、航空事業をその下に統合する方針を掲げる。短距離・長距離で分けていたグループの航空事業を一本化する計画としている。

キャピタル A は短距離 LCC 事業を展開する全額出資子会社 2 社をエアアジア・グループに売却することを通じ、負債の多い航空事業への出資比率への持分を 18.4%まで引き下げ、債務超過状態から脱却する見通しだ。以上の手続きについて株主の合意と裁判所の許可は得たが、政府当局の認可を得られておらず、5 月末としていた再編終了時期を 7 月末まで延期した。また、マレーシア証券取引所も 3 月に同社の計画を承認し、「PN17」解除に向けての進捗は順調。再編後は、成長事業とみなす航空機整備事業を中心に、物流、デジタルが主力事業となる見通しだ。

業績推移

※参考レート 1MYR=34.05円

事業年度	2022/12	2023/12	2024/12	2025/12F	2026/12F
売上高 (百万MYR)	6,437	1,290	1,709	22,602	24,783
損利益 (百万MYR)	-3,238	301	-501	541	689
EPS (MYR)	-0.80	0.05	-0.12	0.13	0.16
PER (倍)	-	16.50	-	6.81	5.53
BPS (MYR)	-1.38	-2.07	-2.03	-1.30	-1.05
PBR (倍)	-	-	-	-	-
配当 (MYR)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
配当利回り (%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (MYR) 0.00 (予想はBloomberg)
終値 (MYR) 0.885 2025/6/9

会社概要

ワナー・ミュージックのアジア地域役員だったトニー・フェルナンデス氏が2001年に創業。マレーシアのクアラルンプール国際空港を拠点とする世界屈指の規模のLCC (格安航空会社)の航空事業は、マレーシアのほか、インドネシア、フィリピンで連結子会社、タイで持分法適用の関係会社を有する。2022年1月に社名を「エアアジア・グループ」から「キャピタルA」に変更し、デジタル事業への進出を本格化してきている。

同社グループは、①航空事業グループ、②ロジスティクス(物流)部門、③エアアジア・デジタル部門の3事業部門セグメントから構成される。

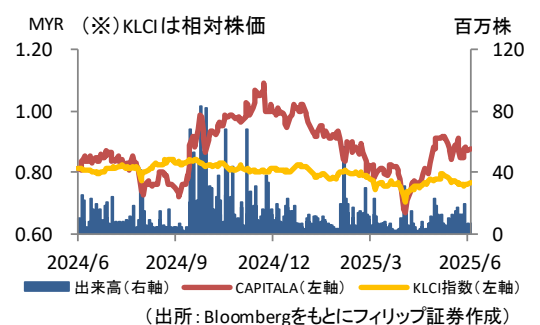
航空事業グループ部門は、マレーシア・エアアジア(MAA)、インドネシア・エアアジア(IAA)、フィリピン・エアアジア(PAA)のほか、タイ資本のアジア・アビエーションを筆頭株主とするタイ・エアアジア(TAA)、およびその他の関連会社および合併事業を傘下に擁する。

ロジスティクス部門は、傘下のテレポートがアセアンを中心に日本でも貨物輸送を営んでいる。

エアアジア・デジタル社が担うデジタル部門は、物流を手掛ける「Teleport」、オンライン販売のプラットフォームである「Aiaasia.com」を運営する「Airasia Super App」、決済事業を営む「BigPay Group」の主要3事業とするほか、その他のデジタル事業を営む。

企業データ (2025/6/10)

ベータ値	1.37
時価総額(百万MYR)	3,837
企業価値=EV (百万MYR)	3,710
3ヵ月平均売買代金(百万MYR)	7.6



主要株主 (2025/6)

	(%)
1.TUNE AIR SDN BHD	11.91
2.TUNE LIVE SDN BHD	11.74
3.POSITIVE BOOM LIMITED	7.67

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく表示＞

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。